



一般社団法人 日本病理学会  
〒113-0034  
東京都文京区湯島 1-2-5  
聖堂前ビル 7階  
TEL: 03-6206-9070  
FAX: 03-6206-9077  
E-mail jsp-admin@umin.ac.jp  
http://pathology.or.jp

一般社団法人日本病理学会

第 310 号

平成 25 年 (2013 年) 11 月刊

**1. 第 59 回日本病理学会秋期特別総会 (甲府学術集会) のお知らせ**

以下の通り, 学術集会を開催いたします。

期間: 2013 年 11 月 21 日 (木)~22 日 (金)

会場: 甲府市・富士屋ホテル

会長: 山梨大学大学院人体病理学教室 加藤 良平

大会ホームページ (HP): <http://www.gakkai.co.jp/jsp59/>

※日本病理学会誌第 102 巻第 2 号 (学会抄録号) は 10 月発刊済み

**2. 第 103 回日本病理学会総会 (広島学術集会) 演題募集中**

会期: 2014 年 4 月 24 日 (木)~4 月 26 日 (土)

会場: 広島国際会議場, ANA クラウンプラザホテル広島  
第 103 回日本病理学会総会ホームページ:

<http://www2.convention.co.jp/103jsp/>

演題募集登録期間: 2013 年 11 月 27 日 (水) まで  
演題登録画面:

<http://www2.convention.co.jp/103jsp/subject.html>

※一般口演及び, 一般示説の演題申込みに関しては, 筆頭演者は平成 25 年度時点での日本病理学会会員に限ります (学部学生示説発表者は除く)。お近くに未入会の発表予定者がいらっしゃいましたら, 入会のご案内よろしくお願いたします。

入会案内 <http://pathology.or.jp/side/membership.html>

**3. 平成 26/27 年度一般社団法人日本病理学会役員選挙について**

平成 26/27 年度の役員立候補受付は終了いたしました。投票は学術評議員によって行われます。投票用紙は 11 月末頃郵送予定です。

**4. 2014 年 細胞診講習会のお知らせ**

2014 年細胞診講習会は, 2 月 22 日 (土), 23 日 (日) に慶應義塾大学で開催されます。お申し込み, 詳細については P.2 の「2014 年 細胞診講習会のお知らせ」, および本学会 HP 新着情報 11 月 5 日付記事をご覧ください。

**5. 会員の訃報**

以下の方がご逝去されました。

宮原 晋一 名誉会員 (平成 25 年 9 月 22 日ご逝去)

-----  
**お知らせ**  
-----

**1. 「高血圧症治療薬の臨床研究事案を踏まえた対応及び再発防止策について (中間とりまとめ)」について**

標記の件につき, 詳細は以下厚生労働省ホームページをご参照下さい。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000024913.html>

**2. 平成 25 年度乳幼児突然死症候群 (SIDS) 対策強化月間について**

11 月 1 日 (金) から 30 日 (土) までは標記強化月間です。詳細は以下厚生労働省ホームページをご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000027303.html>

尚, あわせて乳幼児突然死症候群 (SIDS) 診断ガイドライン (第 2 版) もご覧下さい。

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/sids\\_guideline.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/sids_guideline.html)

**3. 「図解による顕微鏡入門」技術講座 について**

日時: 2014 年 2 月 19 日 (水)

場所: 機械振興会館別館 4 階

(東京都港区芝公園 3-5-22)

主催: 一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会

申込期限: 2014 年 2 月 12 日 (水)

問合せ先:

一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会

電話: 03-3435-9321 Fax: 03-3435-9567

E-mail: [info@joem.or.jp](mailto:info@joem.or.jp) URL: <http://www.joem.or.jp>

## 2014年 細胞診講習会のお知らせ

2014年の細胞診講習会（一般社団法人病理学会、担当：病理専門医制度運営委員会）を開催いたします。病理専門医及び口腔病理専門医（平成23年度以降歯科医籍登録者から）受験資格の要件のひとつとして細胞診に関する講習会を受講していることがあげられております。2014年以降受験予定の方で、未だ細胞診講習会を受講されていない方は、この講習会を受講して下さい。受講希望者は、本学会ホームページの申し込みサイトよりお申し込み下さい。定員（90名）を越える場合は下記6に示す基準に従って選定させていただきます。

なお、2014年の病理学会主催の細胞診講習会は今回1回のみです。

1. 日 時：2014年2月22日（土）9:00～17:15（第1日：受付、講義、実習、質疑）  
2014年2月23日（日）9:00～15:15（第2日：講義、実習、質疑）
2. 講 師：長嶋 洋治（横浜市立大学大学院医学研究科 分子病理学部門）  
増田しのぶ（日本大学医学部 病態病理学系 腫瘍病理学分野）  
中村 直哉（東海大学医学部 基盤診療学系 病理診断学）  
清水 禎彦（埼玉県立循環器・呼吸器センター 病理診断科）  
清水 道生（埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科）  
岡 輝明（公立学校共済組合関東中央病院 病理科）  
大城 久（東京医科大学 人体病理学）  
笹島ゆう子（帝京大学医学部 病理学）
3. 会 場：東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学医学部 東校舎2階講堂および地下実習室  
世話人 慶應義塾大学医学部病理学教室 岡田 保典  
実施責任者 慶應義塾大学医学部病理診断部 亀山 香織
4. 受講料：33,000円（ハンドアウト・CD-ROM・昼食代込み）  
採用通知とともに振替用紙をお送りします（1月頃）。
5. 申込締切：2013年12月13日（金）
6. 受講者の選定基準：1. 2014年病理専門医試験を受験する方  
2. 2015年以降に病理専門医試験を受験する方  
（平成23年度以降歯科医籍登録の口腔病理専門医受験予定者を含む）  
\*1,2の本講習会受講経験のない方を優先いたします（定員90名）
7. 申し込み：日本病理学会 HP 11月5日付「2014年 細胞診講習会のおしらせ」サイト  
<http://pathology.or.jp/news/whats/cytology2014.html> よりお申し込み下さい。
8. 問い合わせ先：一般社団法人日本病理学会事務局  
E-mail: [jsp-admin@umin.ac.jp](mailto:jsp-admin@umin.ac.jp) TEL: 03-6206-9070 FAX: 03-6206-9077

※参考：病理専門医試験申請要綱注意事項 より抜粋

(b) 細胞診に関する講習について

細胞診に関する講習とは、医師を対象とし全域を網羅したものであることが要件であり、現時点では日本病理学会主催による「細胞診講習会」および日本臨床細胞学会による「細胞診断学セミナー」のみが該当します。細胞診専門医は受講不要です（認定証写しを添付して下さい）。

# 日本医学会だより

JAMS News

2013年10月 No. 50  
日本医学会

## ◆第16回日本医学会公開フォーラム

「大腸がん—最新情報を知ろう—」をテーマに、10月19日(土)13:00~16:00、日本医師会館大講堂において開催した。組織委員長は、森 正樹大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学教授。

## ◆第145回日本医学会シンポジウム

「乳がん」をテーマに、12月19日(木)13:00~17:00、日本医師会館大講堂において開催する。組織委員は、池田 正、藤原康弘、平岡真寛の各氏。参加申込みは郵便はがき、FAX、本会HP(<http://jams.med.or.jp/>)にて受付中。参加費無料。詳細はHPに掲載。

## ◆医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を9月4日に開催し、平成25年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

本選考は、日本医師会から日本医学会に委任されており、今年度の推薦数：医学賞21、奨励賞36を審査した。

選考の結果、11月1日の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は3名、奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

〈日本医師会医学賞〉

- ・骨髄異形成症候群におけるRNAスプライシング因子の変異の発見/小川誠司(京大・腫瘍生物学)

- ・地域および職場における心の健康の実態、関連要因解明および対策に関する研究/川上憲人(東大・精神保健学)
- ・インクレチン生理機能の解明と日本人糖尿病におけるその意義/清野 裕(関西電力病院)〈日本医師会医学研究奨励賞〉
- ・マルチカラー細胞系譜追跡法による成体幹細胞の同定と解析/上野博夫(関西医大・病理学)
- ・抗瘍剤耐性を促進するがん特異的な免疫調節因子同定とその臨床的意義の検討/地主将久(北大遺伝研・感染癌研究センター)
- ・蛍光生体イメージング技術を駆使した骨髄内免疫細胞分化の時空間的解明/石井 優(阪大・感染免疫医学)
- ・わが国におけるサルコペニアの定義およびその妥当性の検証/谷本芳美(大阪医大・衛生学・公衆衛生学)
- ・大規模二次的データを用いた臨床疫学、医療経済・政策学研究/康永秀生(東大・臨床疫学・経済学)
- ・脳梗塞に対する再生医療—日本初の薬事法に基づく生物製剤化への試み—/本望 修(札幌医大・神経再生医療学)
- ・サイクロフィリンAを基盤とする心血管病の成因解明と新しい診断・予防・治療法の開発/佐藤公雄(東北大・循環器内科学)
- ・抗ヘリコバクター・ピロリCagA抗体迅速検出キットの開発/塩田星児(大分大・環境・予防医学)
- ・糖尿病血管合併症の発症阻止に向けた新たな

治療戦略の構築/荒木信一（滋賀医大・糖尿病・腎臓・神経内科学）

- ・デルマトン 4-O-硫酸基転移酵素-1 欠損に基づくエーラスダンロス症候群の病態解明と治療法の開発/古庄知己（信州大・遺伝子診療部）
- ・患者組織由来脂肪幹細胞の臨床応用を目指した開発研究/三吉範克（大阪府立成人病センター）
- ・COX 代謝からみた好酸球性副鼻腔炎の病態解明と新規治療法の開発/岡野光博（岡山大・耳鼻咽喉・頭頸部外科学）
- ・子宮体癌においてエピジェネティックな制御を受けている microRNA を用いた創薬研究/阪埜浩司（慶大・産婦人科学）
- ・前立腺肥大症に対する個別化治療と新規創薬開発に向けた基礎的研究/小島祥敬（福島医大・泌尿器科学）
- ・虚血性網膜症における血管再生療法の開発/植村明嘉（神戸大・血管生物学）

#### ◇日本医学会法人化組織委員会

第 5 回日本医学会法人化組織委員会が、5 月 17 日に開催され、「日本医学会が法人格を持つことの必要性について」および「一般社団法人日本医学会定款案」を検討し、次回の日医第 3 回定款・諸規程検討委員会に提出することを決定。さらに、法人格取得の日程（平成 26 年 4 月予定）に合わせて、本年 12 月に臨時評議員会の開催を予定した。

#### ◇日本医学会臨床部会会議

第 3 回日本医学会臨床部会会議を 8 月 28 日に開催。かねてより平成 26 年 4 月に予定していた日本医学会法人格取得につき、横倉日医会長から延期の申し出があり、会議当日、「予定どおり進めるか」または「日医会長の要望に応じて 1 年間延期するか」について議論した。その結果、「予定どおり平成 26 年 4 月に法人格を取得し、法人の名称等については執行部一任とす

る」こととなった。

#### ◇日本医学会基礎部会・社会部会 合同会議

標記合同会議を 10 月 3 日に開催し、日本医学会の法人化に関して検討を行った。合同会議としての結論は、先に開催された臨床部会会議同様、日本医学会の法人化は来年 4 月を目指し、付随した諸問題については執行部に一任となった。

#### ◇日本医学会分科会利益相反会議

「違反事例から見た COI マネージメントのあり方」をシンポジウムテーマとした第 4 回日本医学会分科会利益相反会議を曾根三郎日本医学会利益相反委員会委員長の総合司会の下、11 月 15 日（金）13:00~16:20、日本医師会館小講堂にて開催する。参加希望者は、本会ホームページにて受付中。

当日は総会に引き続き、「日本医学会分科会にかかる COI マネージメントの現状」「臨床研究をとりまく環境～健康・医療戦略と倫理性・質の確保～」「日米欧製薬協の企業依頼臨床試験にかかる論文公表について」「産学連携の透明化とアカデミアへの期待」「医系大学・研究機関・病院における利益相反 (COI) マネージメントガイドラインについて」の講演が行われる予定。

#### ◇日本専門医機構組織委員会

本年 4 月に厚労省から「専門医の在り方に関する検討会報告書」が出されたことを受け、日本医師会、日本医学会、全国医学部長病院長会議、四病院団体協議会、日本専門医制評価・認定機構の 5 団体で構成される「日本専門医機構（仮称）」組織委員会を立ち上げることを決定し、8 月 6 日に、第 1 回を開催した。委員長は金澤一郎氏（国際医療福祉大大学院長）。定款策定、役員選考、総合診療専門医育成、広報、財務等 5 つの委員会の設置が決まった。今後、定款、役員、組織などの骨格を決定する予定。